

文化芸術の 灯を守る！

緊急支援 560億円計上

活動継続へ個人20万円

団体(含む)最大2500万円も

文化芸術の灯を守る！
政府が27日に閣議決
定した2020年度第2次
補正予算案には、公明党の
強力な推進で、新型コロナ

ウイルス感染拡大によるイ
ベント自粛などの影響を受
けた文化芸術の関係者や団
体に向けた総額560億円
規模の緊急総合支援策(ス
ポーツ団体支援を
含む)が計上され
た。

この中では、フ
リーランスの芸術
家、音響や照明の
技術スタッフなど
の個人に対し、活動継続に
向けて種土場の確保や研修
資料の購入、調査・制作準
備などを行う場合、1人最
大20万円まで支援するとし
た。領収書の提出など簡易
な手続き・審査で実施され
る。さかのぼっての申請を
可能とし、その時期は4
月以降とする方向で検討
中(文化庁担当)だ。

団体に対しては、収益力
強化のため、収束後を見据
えた動画配信の取り組みな
どを行う場合、150万
2500万円を支援。特に
小規模向けには、新たな公
演・制作の企画などのため
150万円まで支援するメ
ニューも設けた。

公明党は、文化芸術関係
者の声を聴きながら、支援
予算の確保と使い勝手の良
い支援策の実現に一貫して
尽力。政府の第2次補正予
算編成作業で当初は、予算
確保の見通しが立っていな
かったことから、浮島智子
文部科学部会長(衆院議員)
らが19日に自民党と共に、
25日には超党派派議員の一
員として、萩生田光一文科相
に支援を要請。文化庁や財
務省などと粘り強く折衝を
重ねてきた。

2次補正予算案

公明の提言が反映



(中) 萩生田文相、(右端) 浮島茂之衆議院議員、(左端) 萩生田文相、(右端) 浮島茂之衆議院議員、(左端) 萩生田文相、(右端) 浮島茂之衆議院議員

浮島氏は「文化芸術の危
機状況と関係者と共に真
剣に訴えてきた結果、毎年
の文化芸術関連予算が10
00億円程度という中で、
今回は臨時的な措置として
560億円に上る大きな規
模の支援策がまとまった。
支援がきちんと現場に届く
よう今後も頑張りたい」と
述べた。



日本劇作家協会会長
渡辺えりさん

イベント自粛などの影
響で、文化芸術の団体や
関係者、照明、音響、美
術など技術スタッフのほ
とんどが、大きな打撃を
受けています。このまま
では、活動を続けること
は難しく、日本の文化芸
術は大きく衰退しかねま
せん。

そうした中、今回の緊
急支援策では、個人の活
動継続のための費用のほ
か、団体に対しては、規
模の大小を問わず、公演
再開などに向けた取り組
みをサポートしてもち
ろく、粘り強く
財源確保などに
当たってくれま
した。特に、浮
島文科部会長
は、元バレーリ
ナとして関係者
の苦勞に寄り添
い、その声を代
弁してくれ、大
変に感謝してい
ます。

今こそ、一人
一人の心を癒や
し、喜びと笑い
を生み出す文化芸術の役
割は大きいと思います。
一日も早く元氣と希望を
届けられるよう頑張ります！

公明の尽力に感謝

浮島氏ら